

本資料は登録販売者向けの研修用資料であり、著作物です。
店頭POP・チラシ・接客用資料としての使用や、外部への転用・二次利用はしないでください。

公益社団法人 全日本医薬品登録販売者協会
令和8年度 登録販売者生涯学習研修

第3講座 『痛みを主訴としない主に胃の症状』

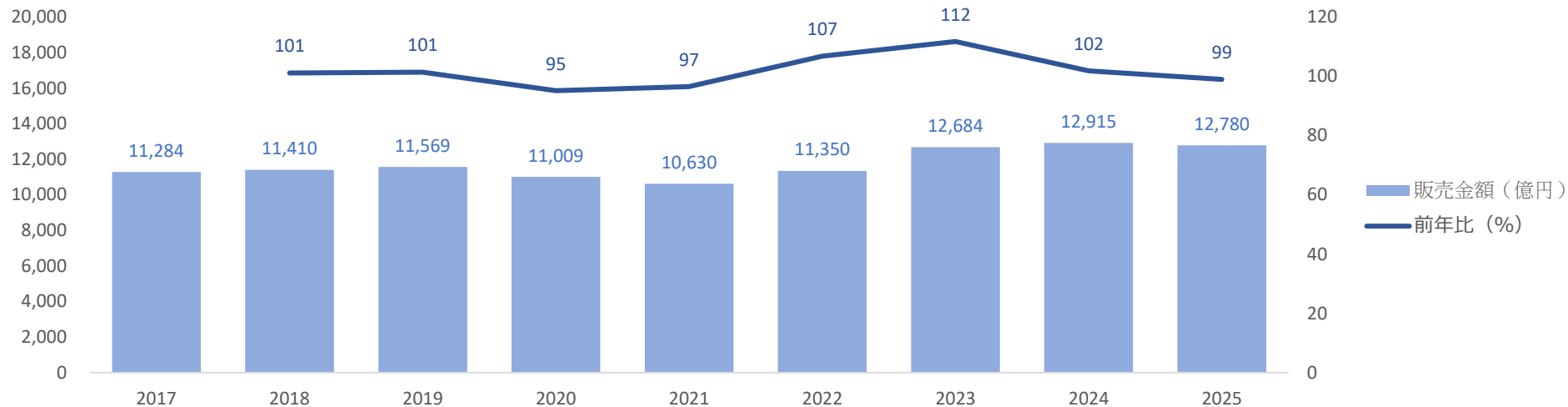


株式会社太田胃散
2026年7月3日現在

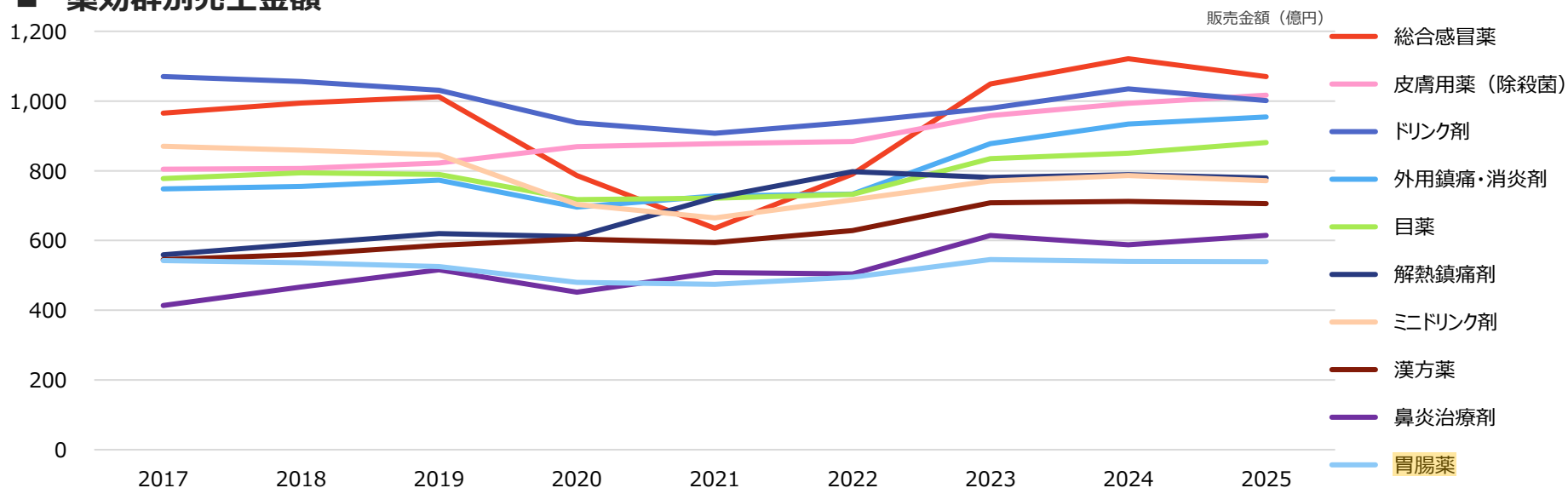
1. OTC市場動向
2. 年代別 胃の症状
3. 胃のはたらき
4. 胃腸薬製造販売
5. 各成分の特徴
6. 胃腸薬成分と対応する症状
7. 代表的な漢方処方
8. 包装容器・添付文書への記載
9. 使用上の注意
10. 受診勧奨

OTC医薬品 市場動向および薬効群別売上推移

OTC医薬品市場(全体)金額



薬効群別売上金額



胃腸薬カテゴリー別 上位5ブランド

■ タイプ別上位5ブランド（2026年4月）

総合	太田胃散S	キャベジンコーワa プラス	第一三共胃腸薬 s	第一三共胃腸薬 プラス	パンシロン 01プラス
制酸	パンシロンキュアSP	スクラート胃腸薬	スクラートG	サクロン	イノペインAZ 胃腸薬
漢方	大正漢方胃腸薬	太田漢方胃腸薬Ⅱ	大正胃腸薬K	サイキョウ 漢方胃腸薬 SP	フジイ陀羅尼助丸
健胃	新セルベール整胃 プレミアム	御岳百草丸	セルベール整胃	恵命我神散S	液キャベコーワ
健胃清涼剤	ソルマック5	液キャベコーワA	ヘパリーゼ胃腸 ドリンク	キャベジンコーワ 胃腸錠	パンシロン 胃腸顆粒
一般用 H2ブロック	ガスター10	ガスター10S	ハリー胃腸薬	ファモガスOD錠 10	ファモガス錠10
鎮痛鎮痙	ブスコパンA	ファイトップOZ NEO	サクロンQ	太田胃散 ペイノン錠	大正胃腸薬p
一般用PPI	タケプロンS	パリエットS	オメプラールS		
消化	タナベ胃腸薬ウルソ	新タカヂア錠	ガロール	オルスビー錠	ワクナガファミ リー胃腸薬

年代別 胃の不調

■ 胃の不調

Q.あなたは普段、胃にどのような不調を感じることがありますか？（複数選択）

	全体※	20代	30代	40代	50代	60代	70代
胃痛	21.9%	23.4%	28.7%	28.3%	26.4%	20.0%	13.1%
胃もたれ、胃が重い	42.6%	42.3%	47.5%	48.3%	44.2%	41.5%	37.1%
胃の不快感	28.4%	26.9%	31.2%	32.6%	27.9%	28.6%	25.3%
食欲不振	10.2%	18.8%	15.4%	11.9%	8.6%	7.3%	6.9%
胸やけ	26.0%	22.8%	25.0%	24.6%	26.2%	27.7%	27.0%
吐き気 （二日酔い・悪酔いのむかつき）	10.7%	19.1%	18.5%	14.6%	10.7%	7.2%	4.0%
胃弱	10.1%	12.8%	14.0%	12.3%	10.2%	8.3%	7.3%
食べ過ぎ／消化不良	38.2%	46.5%	47.1%	44.8%	40.6%	33.3%	29.3%
飲み過ぎ	14.7%	16.9%	17.9%	16.8%	16.0%	15.0%	9.7%
胃酸過多	18.2%	11.9%	13.9%	17.0%	18.3%	20.8%	21.1%
胸つかえ	9.7%	10.7%	11.1%	11.0%	9.0%	8.5%	9.4%
その他	0.7%	0.5%	0.2%	0.2%	0.5%	1.0%	1.4%

※「胃に不調を感じることはない、あてはまるものはない」と回答した方を除外した計26032名

・胃の不調としてよくみられるのは「胃もたれ、食べ過ぎ・消化不良」

年代別 胃の不調原因

■ 胃の不調で考えられる原因

Q.胃の不調を感じる際、あなたは何が原因だと考えていますか？（複数選択）

	全体※	20代	30代	40代	50代	60代	70代
食べすぎ	42.3%	43.6%	46.3%	45.7%	42.9%	39.8%	39.5%
食事をする時間が不規則	11.1%	16.4%	16.5%	12.8%	12.2%	9.0%	6.5%
油物のとりすぎ	26.0%	31.6%	35.2%	32.2%	26.0%	22.2%	18.9%
炭水化物のとりすぎ	11.7%	17.8%	15.6%	14.7%	11.4%	9.0%	8.1%
肉の多い食生活	9.4%	15.2%	16.5%	12.3%	9.4%	6.3%	4.6%
栄養バランスのかたより （偏食が多い）	11.7%	20.5%	20.6%	14.5%	11.9%	8.1%	5.1%
お酒の飲みすぎ	18.7%	16.8%	18.9%	18.6%	20.3%	22.0%	15.3%
体質	11.6%	16.2%	15.1%	14.4%	11.6%	9.5%	8.3%
ストレス	33.5%	42.9%	44.6%	43.2%	38.6%	28.6%	19.7%
加齢（としをとること）	36.7%	7.6%	19.7%	32.5%	40.4%	45.7%	49.2%
運動不足	21.7%	20.4%	21.8%	20.8%	21.0%	21.5%	23.4%
睡眠不足	17.7%	25.6%	23.8%	21.5%	18.9%	14.2%	11.4%
生理（月経）・つわり	4.7%	16.4%	13.1%	8.4%	1.2%	0.1%	0.1%
更年期	8.0%	3.4%	4.2%	13.3%	15.8%	7.9%	4.1%
かぜ等の他の病気の影響	7.0%	8.8%	9.4%	8.0%	7.3%	6.0%	5.3%
その他	2.0%	1.3%	0.9%	1.2%	1.5%	2.4%	3.3%
わからない・考えたことが ない・不調はない	4.4%	3.4%	3.7%	3.6%	3.8%	4.8%	5.6%

計26032名

・食生活由来（食べすぎ・油物のとりすぎなど）以外にも、ストレス・年齢が原因と思われるものも多い

■ 胃の不調の対策

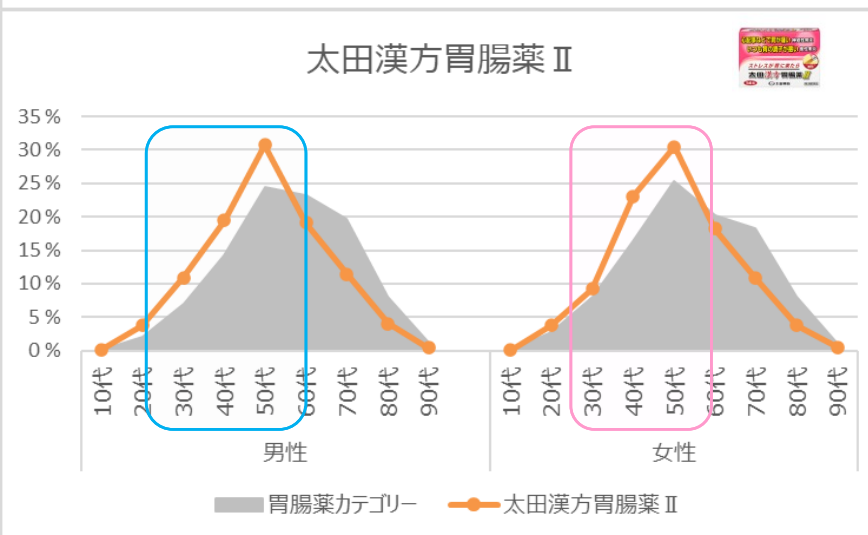
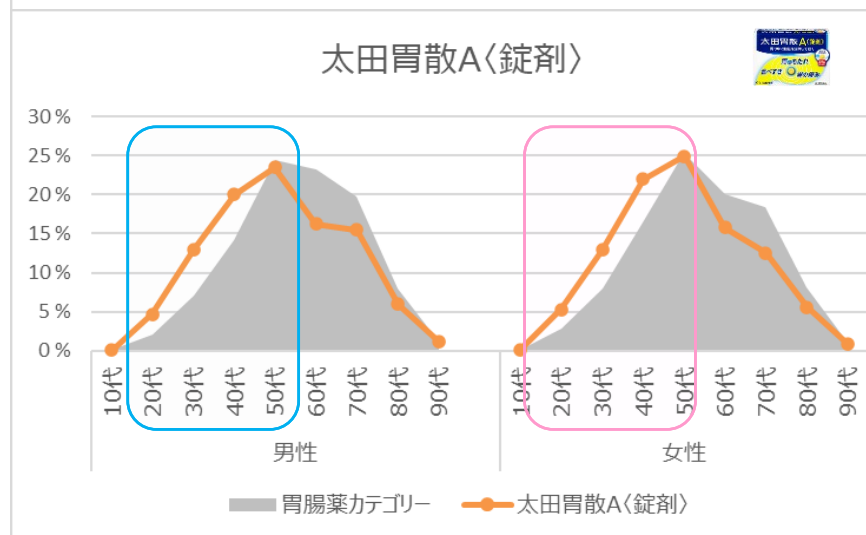
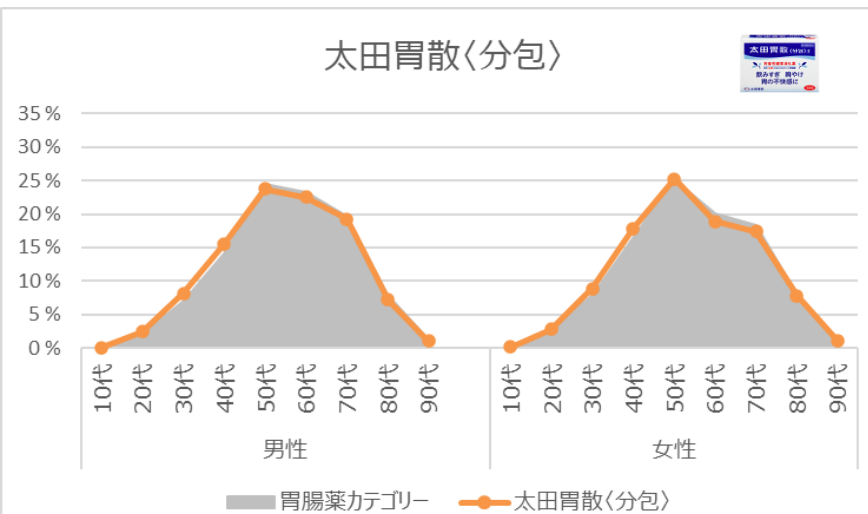
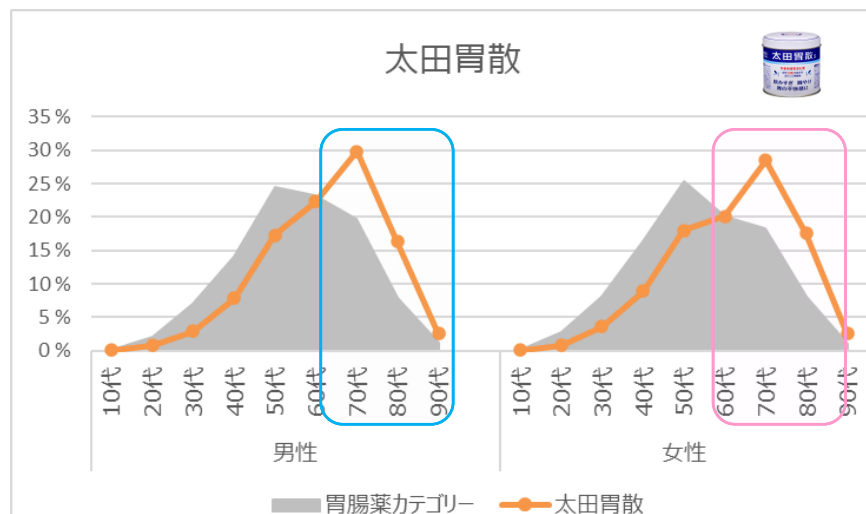
Q.あなたは、胃の不調の対策として、どのようなことをされていますか？（複数選択）

	全体 [※]	20代	30代	40代	50代	60代	70代
医療機関を受診する	15.0%	11.4%	10.7%	11.0%	12.1%	16.2%	21.9%
市販の胃腸薬を飲む	37.1%	25.5%	30.5%	35.0%	37.2%	42.2%	41.5%
漢方を飲んでいる	6.9%	10.2%	10.4%	8.1%	5.5%	5.1%	5.8%
サプリメント・健康食品を摂取する	9.7%	15.8%	16.0%	12.2%	9.2%	6.8%	5.7%
食事の内容や量、時間に気を遣っている	25.3%	26.7%	28.6%	28.2%	24.5%	22.1%	25.1%
適度に運動している	20.9%	23.0%	21.5%	20.0%	17.2%	18.5%	24.8%
睡眠の時間や質に気を付けている	16.1%	23.0%	20.2%	20.4%	14.4%	12.7%	12.9%
ストレスを抱え込まないようにしている	17.2%	22.8%	21.9%	21.7%	16.2%	13.3%	14.1%
その他	0.9%	0.5%	0.6%	0.5%	0.5%	1.1%	1.5%
特に意識して対策していることはない(がまんを含む)	22.1%	22.9%	25.5%	24.1%	26.2%	21.9%	16.2%

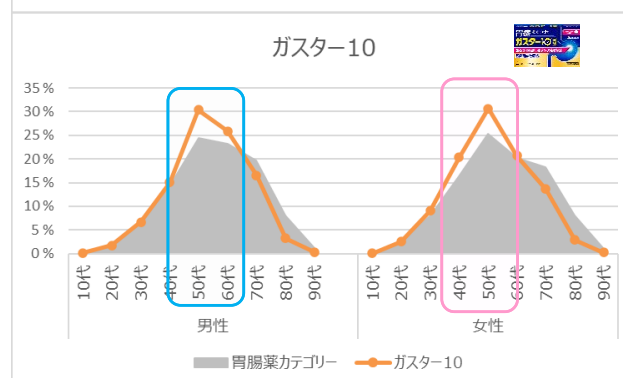
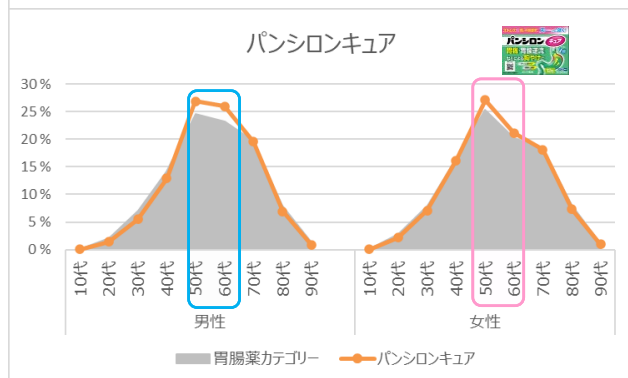
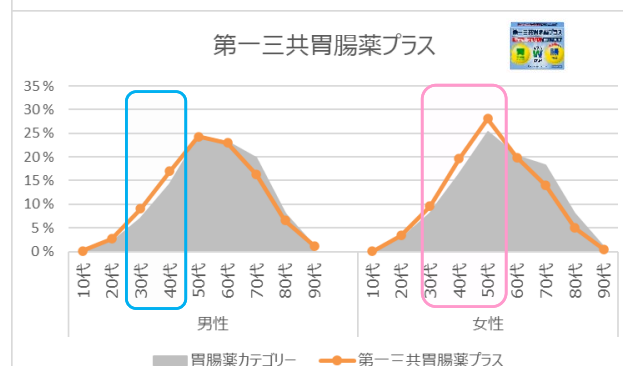
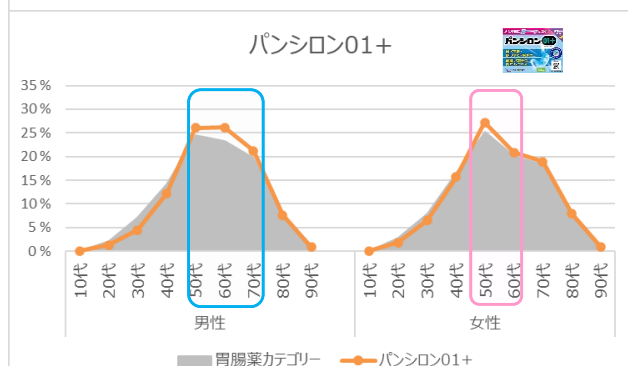
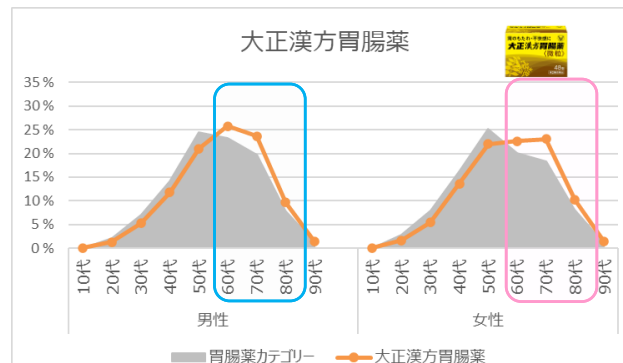
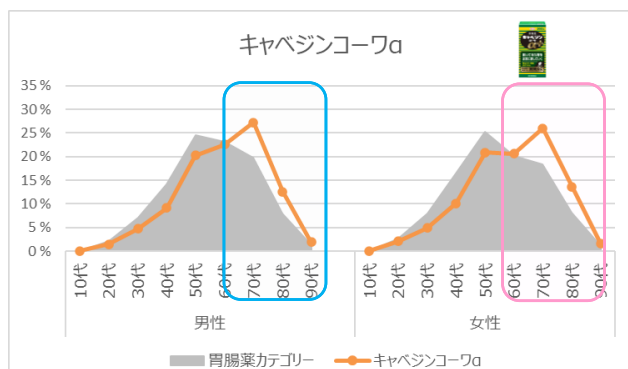
計26032名

・ 胃の不調に関しては、医療機関の受診よりも市販薬での対処が多い

製品別 購入者性年代別構成比①



製品別別 購入者性年代別構成比②



近年のOTC医薬品（胃腸薬カテゴリ）

リニューアル

キャベジンコウα → キャベジンコウα+

太田胃散 → 太田胃散S

終売

ソルマックシリーズ
(胃腸液プラス、プラス、EX2)

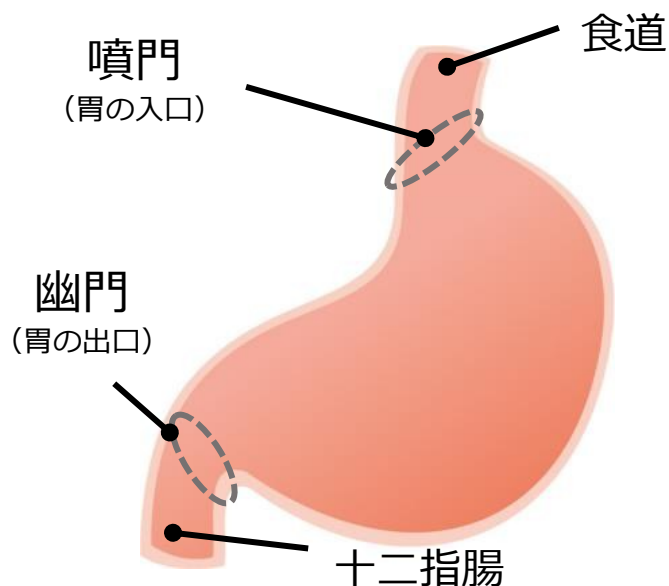
パンシロンAZ

新発売

パリエットS
(2025年6月)
エーザイ

タケプロンS
(2025年8月)
アリナミン製薬

オメプラールS
(2025年8月)
佐藤製薬



胃のはたらき

1. 摂取した食物を一時的に収納
2. 胃液を分泌し、食物の消化と殺菌、胃粘膜の保護を行う
3. 蠕動(収縮)運動により食物を攪拌して粥状にしつつ、腸へ運搬

消化において大事なのが・・・ 胃酸、ペプシノーゲン、粘液

胃酸

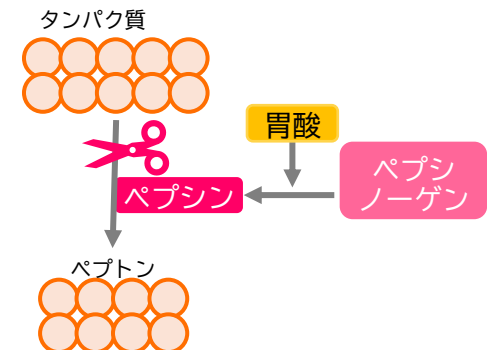
病原菌の殺菌や
ペプシノーゲンの活性化

ペプシ ノーゲン

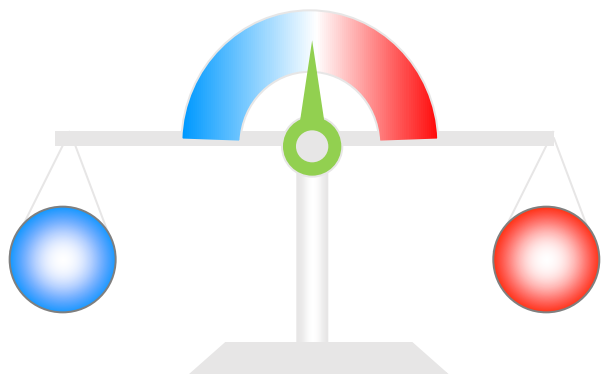
ペプシンとなり、
タンパク質を分解

粘液

ペプシンや胃酸から
胃粘膜を保護



胃粘膜は胃粘液によって守られており、
種々の原因によってバランスが崩れたとき、胃の不快症状があらわれる。



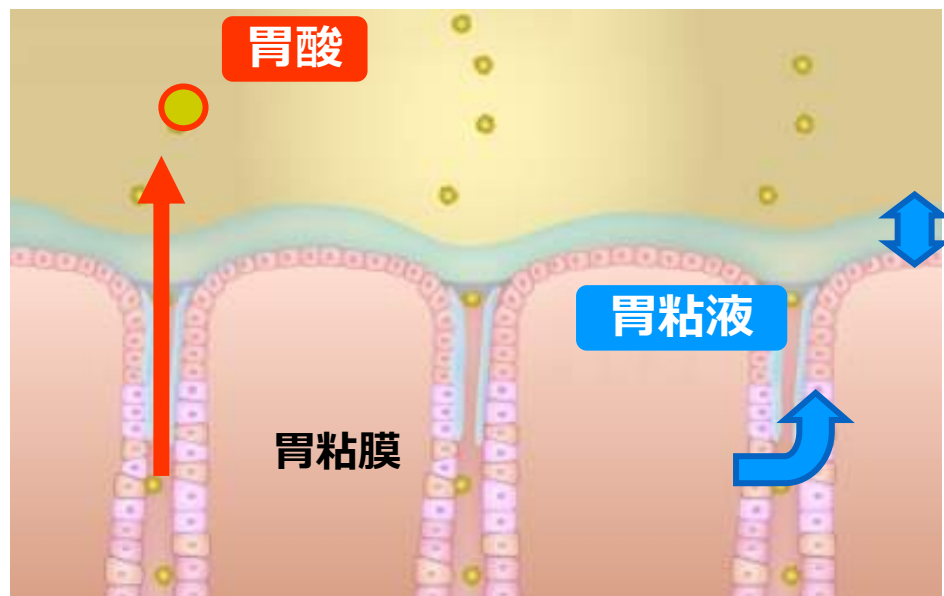
防御因子

胃粘膜を守る
例：胃粘液

攻撃因子

食べ物を消化する
例：胃酸・ペプシン

攻撃因子と防御因子のバランスにより、
正常な状態が保たれる。



胃酸

胃粘膜の壁細胞
より分泌。

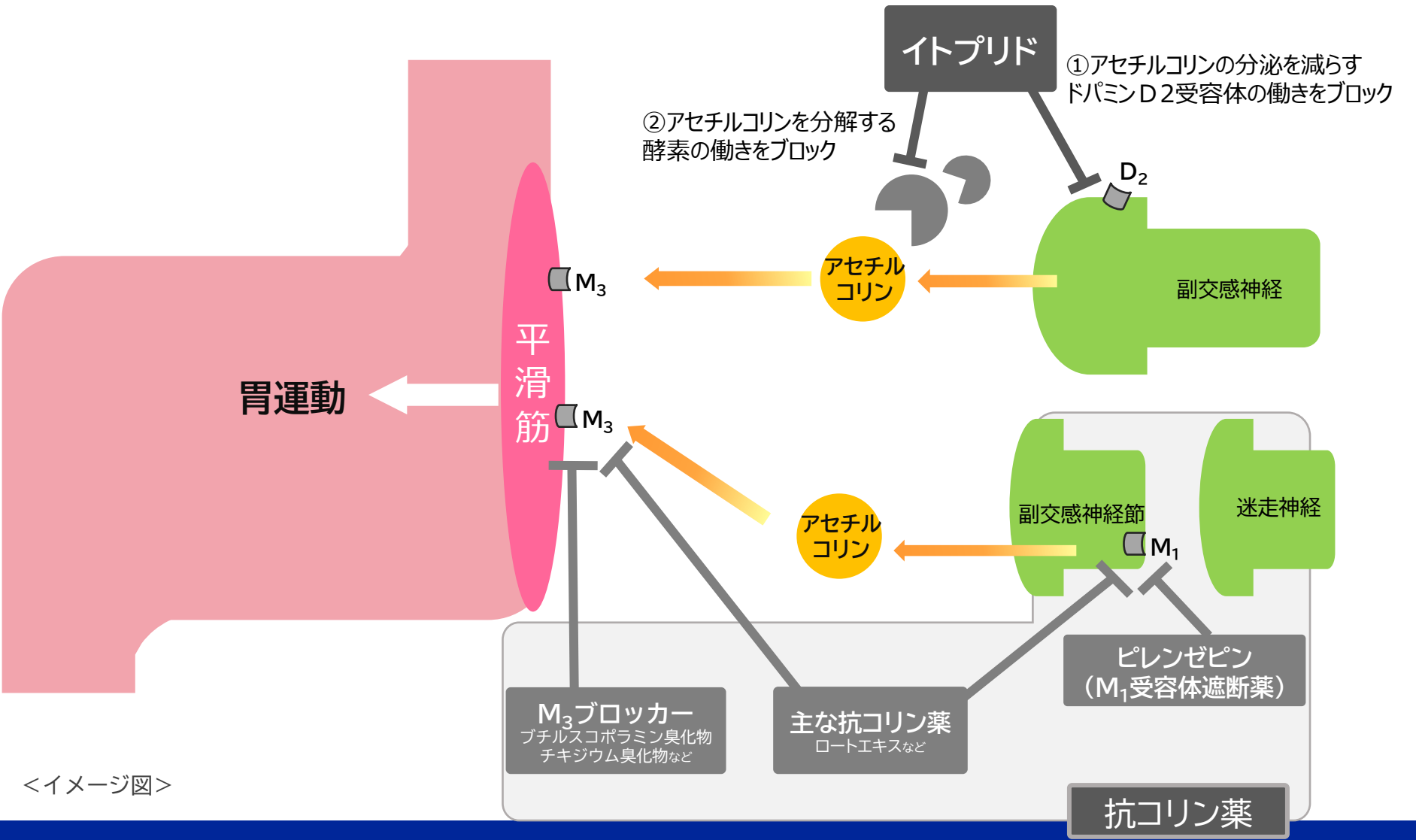
胃粘液

胃粘膜の上皮細胞及び副細胞
より分泌。
ムコたんぱく、ムコ多糖類を
含むゲル状のもので構成。

太田胃散



胃運動にかかわる成分の作用機序（末梢性）

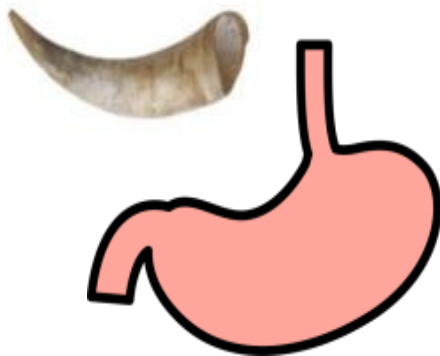


<イメージ図>

胃の形状と起きやすい症状

欧米人によく見られる

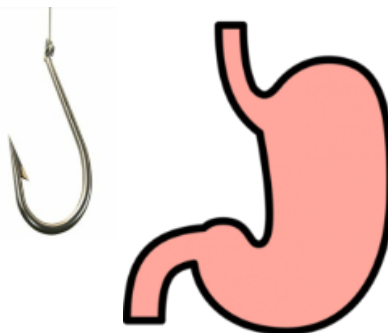
牛角胃



- 消化された食物がスムーズに移行するので、胃もたれ、逆流は起きにくい。
- 満腹感は感じにくい。

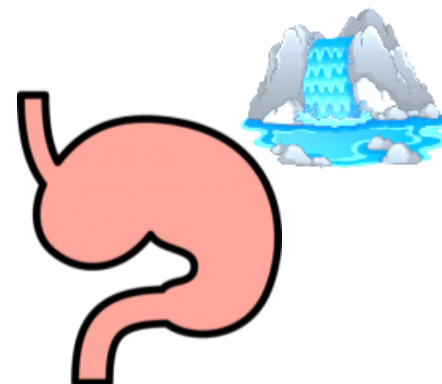
日本人によく見られる

鉤状胃



- 消化された食物が胃の出口手前に残りやすいため、比較的、胃もたれ、逆流が起きやすい。

瀑状胃



- 上部に食物が溜まるので、胃もたれ、逆流が起きやすい。
- 下部の胃酸により胃炎が起りやすい。

日本人は胃の形状から、胃もたれが起きやすい傾向にある

胃腸薬製造販売承認基準と基準外の成分

胃腸薬 製造販売承認基準

制酸剤

- 炭酸水素ナトリウム、メタケイ酸アルミン酸マグネシウム、沈降炭酸カルシウムなど
- ロートエキス

消化剤

- ビオチアスターゼ
- リパーゼ
- プロザイム
- ウルソデオキシコール酸

健胃剤

- 生薬
(苦味)オウバク、ゲンチアナ
(辛味)ショウキョウ、サンショウ
(芳香性)ケイヒ、チンピ
- 乾燥酵母
- カルニチン塩化物

整腸剤

- 整腸生菌…乳酸菌、酪酸菌
- 生薬…アカメガシワ、ケツメイシ

止瀉剤

- タンニン酸ベルベリン
- 生薬…センブリ、ゲンノショウコ

鎮痛鎮痙剤

- ロートエキス
- 生薬…カンゾウ、シャクヤク

粘膜修復剤

- アズレンスルホン酸ナトリウム、アルジオキサ、グリチルリチン酸
- 生薬…アカメガシワ、カンゾウ

消泡剤

- ジメチルポリシロキサン

スイッチOTCなど

基準外

胃酸分泌抑制剤

- ファモチジン
- ピレンゼピン塩酸塩

鎮痛鎮痙剤

- ブチルスコポラミン臭化物
- チキジウム臭化物

粘膜修復剤

- テプレノン

消化管運動調律剤

- トリメブチンマレイン酸塩

胃腸薬製造販売承認基準と規格

区分	主な規格(1日)		主な成分
第Ⅰ欄 制酸剤	0.1M塩酸の中和力	150mL以上	炭酸水素ナトリウム、合成ヒドロタルサイト メタケイ酸アルミン酸マグネシウム、 沈降炭酸カルシウム
第Ⅱ欄 健胃剤	生薬係数和※ ¹	0.5～3.0 (3成分以上の場合)	ケイヒ、ニクズク、ゲンチアナ ウコン、ウイキョウ、ガジュツ、オウバク カルニチン塩化物、乾燥酵母
第Ⅲ欄 消化剤	でんぷん糊精化力 たんぱく消化力 脂肪消化力	210U以上 1500U以上 100U以上	ビオチンアスターゼ プロザイム リパーゼ
第Ⅳ欄 整腸剤	整腸生菌	1×10 ⁶ 個以上	ビフィズス菌、フェカリス菌、アシドフィルス菌、 納豆菌、酪酸菌、ラクトミン
第Ⅴ欄 止瀉剤	成分係数和※ ¹	0.5～1.0	塩化ベルベリン、クレオソート、 オウレン、オウバク、ゲンノショウコ
第Ⅵ欄 鎮痛・ 鎮痙剤	成分係数和※ ¹	0.5～1.0	スコポラミン臭水素酸塩水和物、 アミノ安息香酸エチル、ロートエキス、 カンゾウ、シャクヤク
第Ⅶ欄 粘膜 修復剤			MMSC、L-グルタミン、テプレノン
第Ⅷ欄 消泡剤			ジメチルポリシロキサン

※¹係数和 :同一欄内の各成分の最大量を配合量でわり合計する。

※² : VI欄 1 項のロートエキスが配合されている場合のみ。

※¹係数和 :同一欄内の各成分の最大量を配合量で割り、合計する。

胃腸薬製造販売承認基準の欄別効能

※第Ⅶ欄・第Ⅷ欄は効能・効果は標榜できない

効能・効果	げつぷ（おくび）	胃部不快感	胃部膨満感	胃重	胃部・腹部膨満感	胃弱	消化不良による胃部・腹部膨満感	消化促進	腹部膨満感	整腸（便通を整える）	便秘	下痢	消化不良による下痢	腹痛※を伴う下痢	食あたり	はき下し	水あたり	くだり腹	腹痛	さしこみ（疝痛、癢）	胸つかえ	もたれ（胃もたれ）	胸やけ	嘔吐	飲み過ぎ（過飲）	はきけ（むかつき、胃のむかつき、二日酔・悪酔のむかつき、嘔気、悪心）	胃痛	胃酸過多	消化不良	食べ過ぎ（過食）	食欲不振（食欲減退）	軟便
I 制酸剤	○	○	○	○																	○	○	○	○	○	○	○	○				
II 健胃剤					○	○															○	○	○	○	○	○			○	○	○	
III 消化剤							○	○													○	○							○	○	○	
IV 整腸剤									○	○	○																					○
V 止瀉剤												○	○	○	○	○	○	○														○
VI 鎮痛・鎮痙剤																			○	○			○				○	○				

※²：Ⅵ欄 1 項のロートエキスが配合されている場合のみ。

代表的な制酸剤と特徴

第Ⅰ欄 制酸剤

	成分名	特 徴
速効性	炭酸水素ナトリウム	水溶性。炭酸ガス発生。
	炭酸マグネシウム	瀉下性。非吸収性。炭酸ガス発生。
	酸化マグネシウム	少量で胃酸の中和、多量で下剤の効果がある。 炭酸ガス発生。
中間・持続性	メタケイ酸アルミン酸マグネシウム	アルミニウムとマグネシウムの両方を含む。 胃粘膜保護作用あり。
	合成ヒドロタルサイト	アルミニウムとマグネシウムの両方を含む。 胃粘膜保護作用あり。
遅効・持続性	沈降炭酸カルシウム	便秘性。リンを吸着させる作用もある(カルタン錠)。
	合成ケイ酸アルミニウム	弱瀉下性。胃粘膜保護作用あり。
	ロートエキス	胃酸やペプシンの分泌を抑制。痙攣抑制作用あり。

■ 制酸剤の配合理由

- 胃液を中和し胃酸過多等による症状の緩和
- 胃粘膜の保護
- 消化酵素の至適pHの維持
- 胃液(酸)に弱い整腸菌を守る

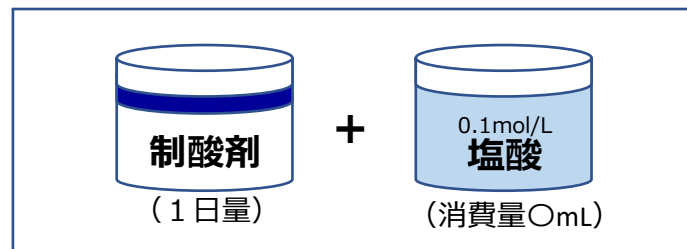
■ 制酸剤の規格と評価

胃腸薬製造販売承認基準でも定められている規格

中和力(総制酸力)

制酸力試験 (日本薬局方)

塩酸消費量から制酸力を評価



1日分で
塩酸**150mL**以上

1回分で
50mL以上

制酸剤(第Ⅰ欄)の効能効果が記載できる (主薬)

1日分で
75mL以上

1回分で
25mL以上

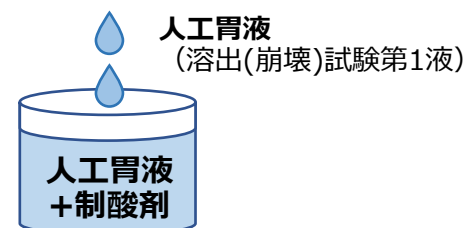
制酸剤を有効成分の欄に記載できる (佐薬)

※pHは 3.5 以上でなければならない

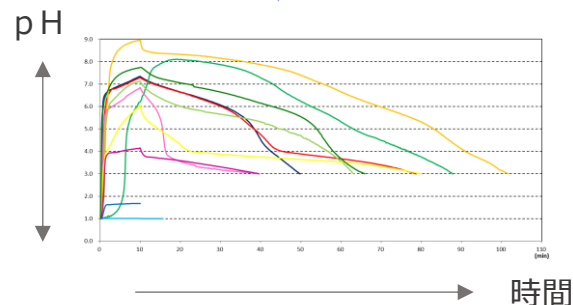
中和のスピード(即効性・持続性)

フックス(Fuchs)変法試験

制酸剤による pHの経時的变化を測定

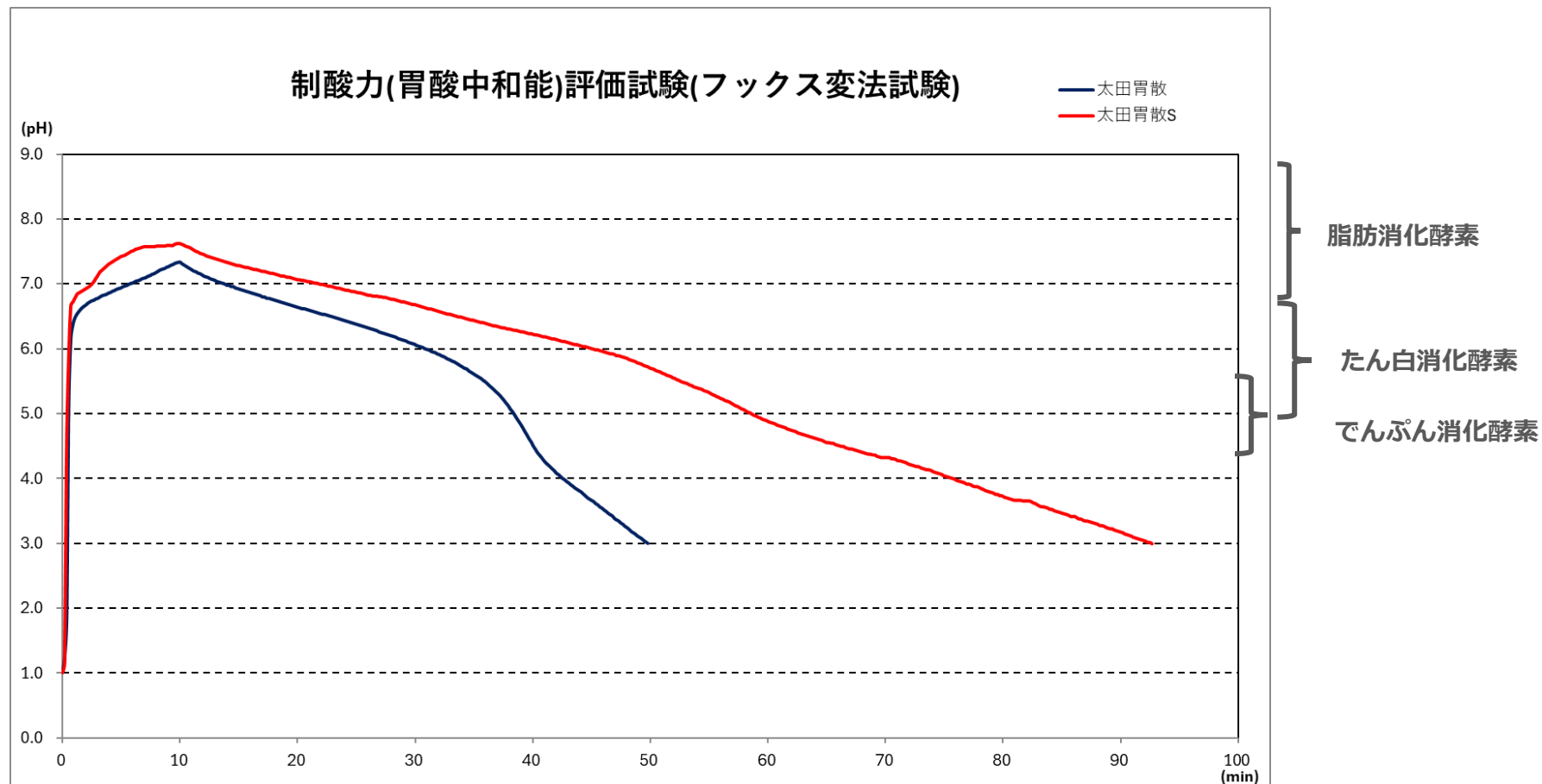


胃を模したビーカー



フックス変法試験②

フックス(Fuchs)変法試験におけるフックス(Fuchs)曲線



- 消化性潰瘍の治療ではpH3以上、急性胃炎・逆流性食道炎の治療ではpH4以上を保つ場合に良好な結果が期待できるとされている。
- ペプシン（たん白質分解酵素）の不活化はpH3以上、失活はpH5.5とされている。
- pH3以下でガストリン(胃酸の分泌促進ホルモン)の分泌抑制が起こる。

炭酸水素ナトリウム（重曹）の塩分缶換算量

重曹のナトリウム量を食塩の量に換算すると？

重曹
(炭酸水素ナトリウム)



に含まれる
ナトリウムの量を、
食塩(塩化ナトリウム)の量に
換算する場合、

重曹1gは
食塩約**0.7g**
(正確には約0.70g)

食塩
(塩化ナトリウム)



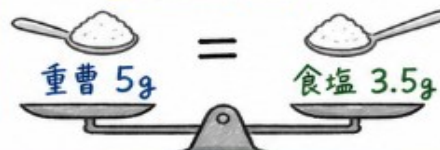
✓ 一般用医薬品に区分される
胃腸薬の承認基準では



炭酸水素ナトリウム
1日 最大 **5g** まで
配合できる

食塩に換算すると

3.5g



高血圧患者、慢性腎臓病患者の目標は



高血圧

慢性
腎臓病
(CKD)

食塩換算で **6g/日未満**

であるので、

重曹の過剰摂取は
注意が必要。

参考

重曹の
過剰摂取



- ・ナトリウムの過剰摂取
- ・体内の水分貯留
(むくみ、血圧上昇など)

健康リスクの
増大につながる



ポイント

重曹は便利な成分ですが、ナトリウムを含むことを意識し、適切な量を守りましょう！

第Ⅱ欄 健胃剤

健胃生薬

- 苦味 : オウバク、ニガキ、ゲンチアナ
- 辛味 : ショウキョウ、サンショウ
- 芳香性 : ケイヒ、チンピ、ウイキョウ



苦味や辛味、香り(芳香)が**味覚や臭覚を刺激**することによって、**反射的に消化管運動を活発に**します。

生薬を含む散剤

できればオブラートなどで包まず
そのまま服用した方がより効果を期待できます。

乾燥酵母

副交感神経を刺激し胃運動亢進、胃液分泌促進作用があります。

カルニチン塩化物

栄養補給、代謝機能亢進作用があるますが効能・効果は記載できません。

第Ⅲ欄 消化酵素・消化剤

消化酵素

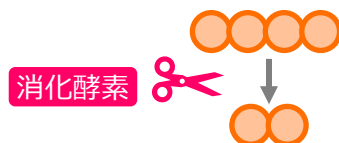
- ビオチンアスターゼ：主にでんぷんやたんぱく質を消化
- リパーゼ：脂肪を消化
- プロザイム：たんぱく質を消化

炭水化物

たん白質

たん白質

脂肪



ウルソデオキシコール酸

胆汁排泄を促進、脂肪・脂肪酸の分解促進のほか、
肝機能を助け、解毒作用を亢進させるともいわれています。

健胃生薬

- ・芳香性健胃薬：ケイヒ、ウイキョウ
- ・苦味健胃薬：ゲンチアナ、ニガキ

胃運動促進剤

- ・カルニチン塩化物
- ・トリメブチンマレイン酸塩

第Ⅳ欄 整腸剤

整腸生菌

- ビフィズス菌、フェカリス菌、アシドフィルス菌、納豆菌、酪酸菌など

腸内細菌のバランスを整える

整腸生薬

- アカメガシワ、ケツメイシ、ゲンノショウコ等

腸管運動の調節、腸粘膜保護など

第Ⅴ欄 止瀉剤

	成分名	特 徴
1項	木クレオソート、タンニン酸ベルベリン、アクリノール等	腸内の有害な細菌を殺菌
2項	タンニン酸、ビスマス塩類	腸粘膜の保護、炎症を鎮める収斂作用
3項	天然ケイ酸アルミニウム、活性炭等	腸内で発生した有毒物等の吸着
4項	カルシウム製剤	
5項	生薬(センブリ、ゲンノショウコ等)	殺菌成分や収斂成分を含有

その他の成分

第Ⅵ欄 鎮痛鎮痙剤

		成分名	特 徴
1項	副交感神経遮断剤	ロートエキス、臭化ブチルスコポ ラミン	副交感神経の働きを遮断し、胃の痛 みや痙攣を緩和
2項	鎮痙剤	パパベリン塩酸塩	胃の筋肉に直接作用し、痙攣の緩和や、 局所麻酔作用によって痛みを緩和
3項	局所麻酔剤	アミノ安息香酸エチル	
4項	生薬	エンゴサク、カンゾウ、シャクヤ ク、コウボク	鎮痛・鎮痙成分を含有

第Ⅶ欄 粘膜修復剤

	成分名	特 徴
1項	アズレンスルホン酸ナトリウム	
2項	アルジオキサ	アルミニウム含有の使用上の注意記載
3項	グリチルリチン酸	配合量により使用上の注意記載
4項	L-グルタミン酸	
5項	銅クロロフィリンナトリウム	
8項	メチルメチオニンスルフォニウムクロライド	独特な臭い
9項	生薬(アカメガシワ、カンゾウ、エンゴサク)	第Ⅳ欄にも収載

第Ⅷ欄 消泡剤

	成分名	特 徴
	ジメチルポリシロキサン	胃内の気泡を破泡

主な基準外成分

成分名	作用	商品名	効能・効果
ファモチジン	胃壁細胞のH2受容体を競合的に遮断し胃酸分泌を抑制。	ガスター10	胃痛、もたれ、胸やけ、むかつき
ピレンゼピン	M1受容体を選択的に遮断し胃酸分泌を抑制。 (心臓や平滑筋臓器への作用は少ない)	ガストール	胃痛、胸やけ、胃酸過多、胸つかえ、げっぷ、胃もたれ、胃重、胃部不快感、胃部膨満感・はきけ（むかつき、胃のむかつき、二日酔・悪酔のむかつき、嘔気、悪心）、嘔吐、飲み過ぎ、食べ過ぎ、消化不良、消化不良による胃部・腹部膨満感、消化促進、食欲不振
スクラルファート (ショ糖硫酸エステルアルミニウム塩)	pH3.5以下で潰瘍部のたん白質成分と結合し、保護層形成・治癒促進。ペプシン活性を抑制。 PGE2産生亢進による胃粘膜血流増加。 EGF産生亢進による粘膜細胞増殖	スクラート	胃痛、もたれ（胃もたれ）、胃重、胃部膨満感、胃部不快感、消化不良、消化不良による胃部・腹部膨満感、消化促進、食欲不振（食欲減退）、食べ過ぎ（過食）、飲み過ぎ（過飲）、吐き気（むかつき、二日酔・悪酔のむかつき、胃のむかつき、嘔気、悪心）、胸つかえ、嘔吐、胸やけ、胃酸過多、げっぷ（おくび）
デプレノン	胃粘液合成・分泌促進 胃酸分泌抑制	セルベール	胃もたれ、胸やけ、食べ過ぎ、飲み過ぎ、胃部・腹部膨満感、食欲不振、吐き気（むかつき、嘔気、悪心）、嘔吐、胸つかえ
トリメブチンマレイン酸塩	消化管運動調律 低濃度でコリン作動性神経末端からのアセチルコリン遊離促進し蠕動運動を促進	タナベ胃腸薬〈調律〉	胃もたれ、胃部膨満感、胃重、吐き気（胃のむかつき、二日酔・悪酔のむかつき）、胃部不快感、食べ過ぎ、飲み過ぎ、消化促進、消化不良による胃部・腹部膨満感、食欲不振、胃弱、消化不良、胸つかえ、胃痛、胸やけ、胃酸過多、げっぷ、嘔吐
チキジウム臭化物	抗コリン作用による胃酸分泌抑制 鎮痙作用	大正胃腸薬P	胃痛、腹痛、さしこみ（腹部疝痛）
イトプリド塩酸塩	D2受容体に拮抗&アセチルコリンの分解を抑制することで、消化管運動を亢進する。	イラクナ	胃もたれ、胃部・腹部膨満感、食欲不振、胸やけ、はきけ、嘔吐

● 胃もたれとは

食べてから時間が経っても胃が重たく、
胃の中に食べ物が残っていて不快な状態のこと

● 原因

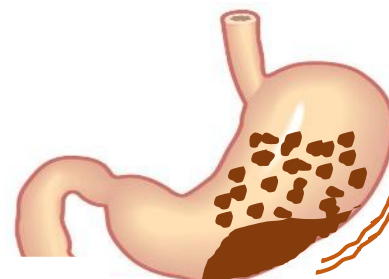
負担のかけすぎ

- 食べすぎ
(特に脂っこいもの)
- 飲みすぎ
- 食べるのが速い



胃の機能の低下

- 疲労
- 加齢
- ストレス



● 対策

胃の働き

消化不良

胃もたれ

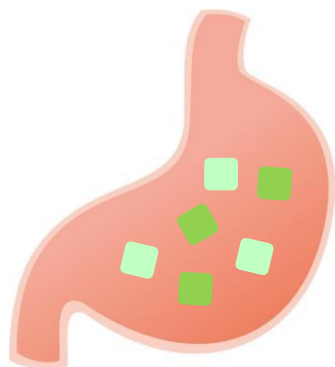
飲食物の負担

消化をサポート！

消化剤
健胃剤

胃から十二指腸へ送られるまでの時間は、
食べたものによって変わります。

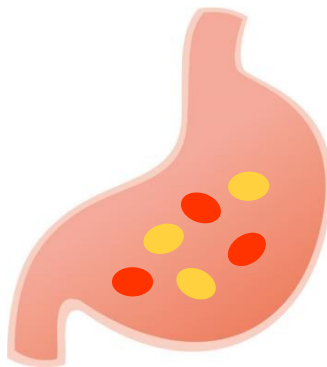
炭水化物



2～3時間

《例》
米、うどん、パスタ類

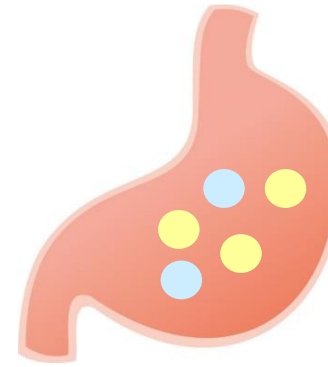
たん白質



4～5時間

《例》
魚、肉、卵、大豆

脂肪



7～8時間

《例》
サラダ油、マーガリン、ラード

通常空腹状態になるには5～6時間必要とされています。
1日3回の食事により、胃は休みなく働き続けています

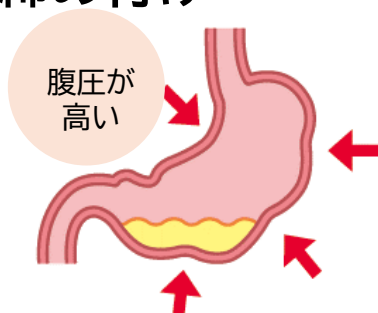
● 胸やけとは

みぞおちから胸部にかけて、
チリチリと焼けるような感覚がすること

● 原因

弁の緩み・締め付け

- 加齢
- 肥満
- 前かがみの姿勢



胃液の分泌過剰

- 食べすぎ
(特に甘いもの、イモ類)
- 脂っこい食事、刺激物



● 対策

制酸剤

胃酸分泌抑制剤

胃粘膜修復剤

速効性の制酸剤が有効

効果的な剤形: 直接患部に作用するもの
例) 粉末、チュアブル錠

サッと広がる

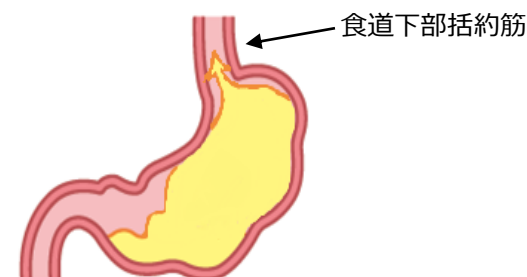
噛んで服用



「胃食道逆流症」の原因となる「薬剤・因子」

● 胃食道逆流症（胸やけ）の症状を起こす胃の状態

- ・ 弁の緩み
- ・ 腹圧が高くなる
- ・ 胃酸過多(胃酸分泌亢進)
- ・ 胃運動の低下



● 原因となる薬剤・因子

食道下部括約部の圧を低下させる	薬剤	抗コリン作用を有する薬剤、カルシウム拮抗薬、テオフィリン、ニトロ化合物、β2刺激薬、ジアゼパムなど
	因子	喫煙、脂肪分の多い食品、チョコレート、
胃酸分泌を促進する	薬剤	アスピリンなどの非ステロイド性抗炎症薬、カルニチン塩化物 カフェインなどのキサンチン系薬剤
	因子	コーヒー、ドリンク剤、喫煙、香辛料、柑橘類、炭酸飲料、繊維質
胃内排泄時間を遅らせる	薬剤	抗コリン作用を有する薬剤
	因子	過食、消化管運動障害

二日酔い・むかつき への対応

● 二日酔いとは

お酒を飲んだ後、翌日に残っている様々な症状。
頭痛やむかつき、吐き気などが生じる。

● 原因

アルコールが肝臓で分解されて生じる
「アセトアルデヒド」や
お酒に含まれる不純物等が体内に作用し、
頭痛やむかつき、吐き気を引き起こす。



● 対策

**健胃薬
肝臓水解物
制酸剤**

弱った胃の働きを高める
肝臓の新陳代謝を高め、滋養強壮効果をもたらす
胃酸の働きを抑え、ムカムカを鎮める

漢方薬

五苓散など
(胃腸内の余分な水を排出し、弱った胃の働きを高める)

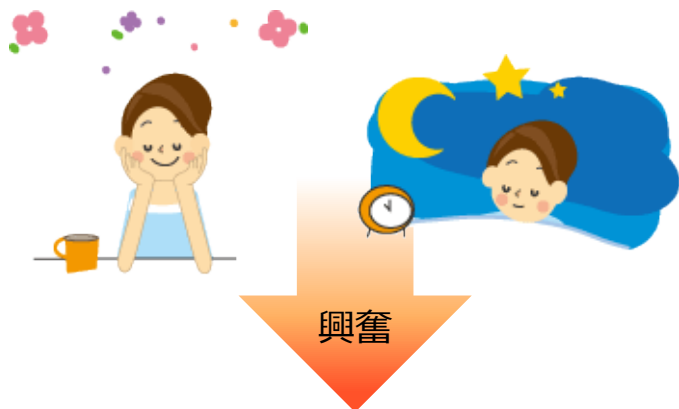
● ストレス胃とは？

胃べ過ぎでも飲み過ぎでもないのに胃の調子が悪い

胃のはたらきは自律神経によってコントロールされている

副交感神経

休息しているときにはたらく神経

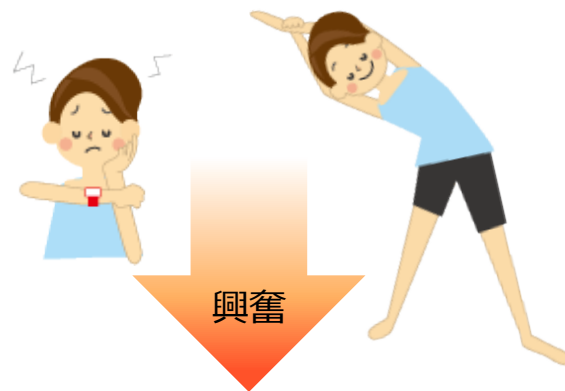


胃腸の働きが高まる

- ・胃酸の分泌が増える
- ・胃の蠕動運動が強まる

交感神経

活動しているときにはたらく神経



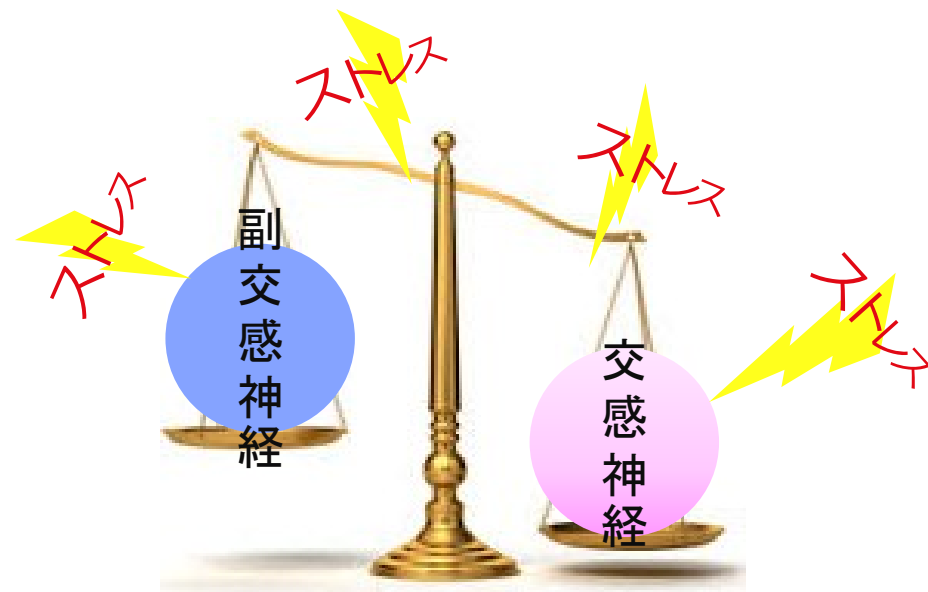
胃腸の働きが弱まる

- ・血管が収縮することにより胃粘液の分泌が減る
- ・胃の蠕動運動が弱まる

主な胃腸症状の原因と対応（神経性胃炎）②

● ストレス胃の原因は？

不安や緊張などのストレスにより自律神経のバランスが乱れると、胃に不快な症状が現れる。



自律神経のバランス

● ストレス胃の対策！

漢方胃腸薬
(自律神経の乱れを整える)

＜効果的な漢方処方例＞

「安中散」
「安中散加茯苓」
「半夏厚朴湯」
「半夏瀉心湯」



代表的な漢方処方（健胃・消化を適応症として持つもの）

健胃、胃運動亢進、制吐の働きをもつ生薬の組合せが主

体力虚弱

体力中等度

体力充実

人参湯

（胃腸虚弱、嘔吐ほか）

安中散・安中散加茯苓

（神経胃炎、慢性胃炎、胃腸虚弱）

六君子湯

（胃腸虚弱，消化不良ほか）

半夏瀉心湯

（消化不良、二日酔い、胃弱ほか）

半夏厚朴湯

（神経性胃炎、つわりほか）

平胃散

（胃のもたれ，消化不良，食欲不振ほか）

黄蓮解毒湯

（胃炎、二日酔ほか）

五苓散

（吐き気などを伴う二日酔、暑気あたりほか）

小半夏加茯苓湯

（つわり、嘔吐、悪心）

代表的な漢方処方（健胃・消化を適応症として持つもの）

処方	体力	しぼり	効能・効果
人參湯	虚弱	疲れやすく手足などが冷えやすいもの	胃腸虚弱、下痢、嘔吐、胃痛、腹痛、急・慢性胃炎
安中散 安中散加茯苓	中等度以下	腹部は力がなくて、神経過敏で胃痛又は腹痛があつて、ときに胸やけや、げっぷ、胃もたれ、食欲不振、はきけ、嘔吐などを伴うもの	神経性胃炎、慢性胃炎、胃腸虚弱
六君子湯		胃腸が弱く、食欲がなく、みぞおちがつかえ、疲れやすく、貧血性で手足が冷えやすいもの	胃炎、胃腸虚弱、胃下垂、消化不良、食欲不振、胃痛、嘔吐
半夏瀉心湯	中等度	みぞおちがつかえた感じがあり、ときに悪心、嘔吐があり食欲不振で腹が鳴って軟便又は下痢の傾向のあるもの	急・慢性胃腸炎、下痢・軟便、消化不良、胃下垂、神経性胃炎、胃弱、二日酔ほか
半夏厚朴湯		気分がふさいで、咽喉・食道部に異物感があり、ときに動悸、めまい、嘔気などを伴うもの	不安神経症、神経性胃炎、つわり、せき、しわがれ声、のどのつかえ感
平胃散	中等度以上	胃がもたれて消化が悪く、ときにははきけ、食後に腹が鳴って下痢の傾向のあるもの	食べ過ぎによる胃のもたれ、急・慢性胃炎、消化不良、食欲不振
黄連解毒湯		のぼせぎみで顔色赤く、いろいろして落ち着かない傾向のあるもの	鼻出血、不眠症、神経症、胃炎、二日酔ほか
五苓散	体力にかかわらず使用できる	のどが渇いて尿量が少ないもので、めまい、はきけ、嘔吐、腹痛、頭痛、むくみなどのいずれかを伴う	水様性下痢、急性胃腸炎、暑気あたり、頭痛、むくみ、二日酔
小半夏加茯苓湯		悪心があり、ときに嘔吐するもの	つわり、嘔吐、悪心、胃腸炎

● 直接の容器等の記載事項（例：太田胃散A＜錠剤＞）

直接の容器（箱、ボトル等）を更に外箱（化粧箱等）に入れる場合は、
直接の容器等の表示が透かして見えない時には外箱（化粧箱等）にも表示が必要となる。

- ：表記義務がある項目
- ：該当するもののみ表示義務がある項目
- ：直接の容器等には記載義務がない項目（添付文書への記載があればよい等）

名称

重量、容量又は個数等の内容量

効能・効果

用法・用量※1

※1：添付文書、容器、
外箱のいずれかに記載。

使用及び取り扱い上の注意 等

- ・指定乱用防止医薬品に関する事項
- ・使用の制限(人、部位、乳汁移行性)
- ・副作用に伴う事故につながる恐れ
- ・専門家への相談勧奨
- ・添付文書の必読
- ・保管及び取り扱い上の注意

製造番号
又は製造記号

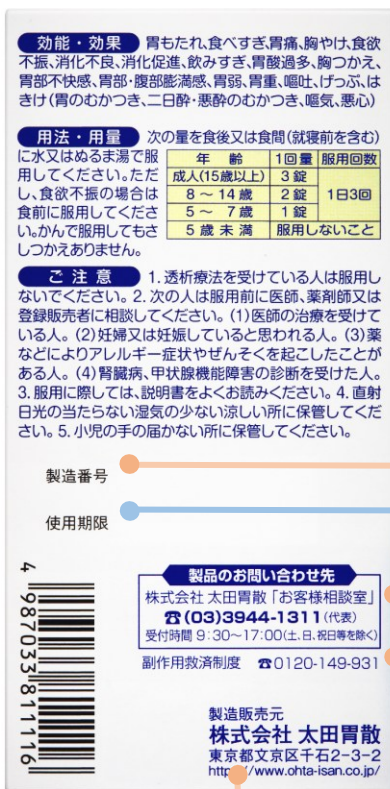
使用期限※2

消費者相談窓口

副作用救済制度
の問合せ先

有効(組成)成分の
名称及び分量※3

添加物



リスク区分を示す識別表示

日局に収載されている医薬品は、
「日本薬局方」も文字等を記載

製造販売業者の氏名
又は名称及び住所

※2：記載を必須とするのは、「適切な保存条件の下で3年を超えて性状
及び品質が安定でない医薬品等、厚生労働大臣の指定する医薬品」

※3：日局に収載されている医薬品以外の医薬品

添付文書の記載例

：表記義務がある項目

改訂年月（重要な変更の場合）

添付文書の必読
保管に関する事項

販売名

服用に際しては、この説明書を必ずお読みください。
また、必要な時に読めるよう大切に保管してください。

胃のもたれ・食べすぎ・胃の痛みに

太田胃散A<錠剤>

第2類医薬品

リスク区分を示す
識別表示

製品の特長
(簡潔に)

● 特 徴

胃腸薬

近年の食生活は多様化しています。加工食品や肉食など脂肪分の多い食事の増加や、不規則な食生活などによって、胃に負担をかける機会が増えています。太田胃散A<錠剤>は、胃の中の脂肪分を分解することによって胃に対する負担をやわらげ、不快な症状を改善する胃腸薬です。

● 脂肪や肉類による“胃のもたれ”に効く
脂肪や肉類を消化するリパーゼAP6、ウルソデオキシコール酸、プロザイム6と、ビオチンアスターゼ1000の働きで、脂っこい食事や食べすぎなどによっておこる胃のもたれに、すぐれた効果をあらわします。

● 症状に合わせた服用が効果的
胃がもたれたり胸やけがする時、胃の痛みがある時は、食後又は食間に服用してください。就寝前の服用もお勧めします。また、食欲がない時は食前に服用すると、食事がおいしくいただけます。

● のみやすい錠剤
錠剤をのみやすいように工夫しました。溶けやすく、さわやかな服用感が胃がスッキリします。かんで服用してもさしつかえありません。

△ 使用上の注意

⊗ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)

1. 次の人は服用しないでください
透析療法を受けている人。
2. 長期連用しないでください

⊗ 相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください
(1) 医師の治療を受けている人。
(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
(3) 薬などによりアレルギー症状やぜんそくを起こしたことがある人。
(4) 次の診断を受けた人。
腎臓病、甲状腺機能障害
2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ

3. 2週間服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

効能・効果

● 効能・効果

胃もたれ、食べすぎ、胃痛、胸やけ、食欲不振、消化不良、消化促進、飲みすぎ、胃酸過多、胸つかえ、胃部不快感、胃部・腹部膨満感、胃弱、胃重、嘔吐、げっぷ、はきけ(胃のむかつき、二日酔い・悪酔いのむかつき、嘔気、悪心)

用法・用量

● 用法・用量

次の量を食後又は食間(就寝前を含む)に水又はぬるま湯で服用してください。ただし、食欲不振の場合は食前に服用してください。かんで服用してもさしつかえありません。

年 齢	1回量	1日服用回数
成人(15歳以上)	3錠	3回
8～14歳	2錠	
5～7歳	1錠	
5歳未満	服用しないこと	

※ 食間とは食後2～3時間のことをいいます。

<用法・用量に関連する注意>

小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。

成分・分量
添加物

● 成 分 1日量(9錠)中

	成 分	分 量	主 な 作 用
消 化 剤	リパーゼ AP6	60 mg	脂肪を消化する酵素です。
	プロザイム 6	30 mg	たん白質を消化する酵素です。
	ビオチンアスターゼ 1000	60 mg	でんぷんやたん白質を消化する酵素です。
	ウルソデオキシコール酸	12.6 mg	胆汁の分泌を促し、脂肪の消化を助けます。
制 酸 剤	炭酸水素ナトリウム	1,530 mg	作用の異なる各制酸剤が、胃の中の酸度を効果的に調整します。
	合成ヒドロタルサイト	900 mg	
	沈降炭酸カルシウム	270 mg	
健胃生薬成分	ケイヒ油	10.40mg	生薬成分が持つ特有の芳香と健胃作用で、胃の働きを良好にします。
	レモン油	4.46mg	
	ウイキョウ油	1.65mg	

(添加物) トメントール、乳糖、黄色4号(タートラジン)、アラビアゴム、ステアリン酸Mg、カルメロースCa、セルロース、天然ビタミンE

保管及び
取扱い上の注意

● 保管及び取扱上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。
(誤用の原因になったり品質が変わることがあります。)
- (4) 使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。

● 包 装 45錠(分包タイプ)、120錠・300錠(ビン入り)

この他、下記の姉妹品があります。目的に合わせてご利用ください。

飲みすぎ・胸やけ・胃の不快感に 太田胃散 (缶入り・分包タイプがあります)

ストレスによる神経性胃炎・慢性胃炎に 太田漢方(胃) (散剤・錠剤タイプがあります)

消費者相談窓口
副作用被害救済制度

製造販売業者等の氏名
又は名称及び住所

製品のお問い合わせ先

株式会社 太田胃散「お客様相談室」
(03) 3944-1311 (代表)
受付時間 9:30～17:00(土、日、祝日等を除く)

副作用救済制度 ☎0120-149-931

製造販売元

株式会社 太田胃散
東京都文京区千石2-3-2
<https://www.ohita-isan.co.jp/>

- ・ O T C 医薬品は安全性重視で商品設計・承認されている。
その中でも、お客様の体質、病状等でごく稀に副作用は発生する。

例：一部の漢方薬（小柴胡湯など） → 間質性肺炎
酸化マグネシウム → 高マグネシウム血症
解熱鎮痛剤他 → スティーブンジョンソン症候群
グリチルリチン酸（甘草） → 偽アルドステロン症

- ・ 副作用が発生したら厚生労働省*に報告する**義務**がある。

報告期限なし：医師・薬剤師・登録販売者などの医療関係者
報告期限あり：製薬企業

*実務上はPMDAに報告書を提出

- ・ それを元に「使用上の注意」の改訂が行われる。

使用上の注意①(服用してはいけない方)

● 服用してはいけない方

◎ **授乳中の方**が服用できない製品（服用する場合は授乳を避ける）

a) **ロートエキス**を含有する製品

母乳に移行して、乳児に一時的な頻脈等が現れることがある

b) **H₂ブロッカー**製品

母乳に移行することが報告されている

◎ **透析療法をしている方**が服用できない製品

a) アルミニウム**含有制酸剤**

アルミニウム骨症、アルミニウム脳症が現れるおそれがある

・ アルミニウムを含有する胃腸薬を長期に服用した場合：

アルミニウムが体内に蓄積し、アルミニウム骨症やアルミニウム脳症を発症した報告あり

ケイ酸アルミン酸マグネシウム、
合成ヒドロタルサイト、
合成ケイ酸アルミニウムなど

◎ **「服用後、乗り物又は機械の運転・操作はしない」**ができない製品

a) ピレンゼピンを含有する製品

一部抜粋。その他の注意事項は、各製品の添付文書を参考にしてください

使用上の注意②(相談すること)

◎ 甲状腺機能障害の診断を受けた人

- ・ **カルシウム**を含む制酸剤を含有する製品

血中Ca濃度上昇による甲状腺機能低下症又は副甲状腺機能亢進症を悪化させる恐れがある。

◎ 腎臓病の診断を受けた人

- ・ **Al、Na、Ca、Mg**等を含む制酸剤を含有する製品

腎臓に障害があると、Na、Ca、Mgなどのイオンが体内に貯留する恐れがある。

◎ 塩分制限を受けた人

- ・ **Na**を含む制酸剤を含有する製品

体内のNa濃度が高くなると、体は濃度を一定に保とうとして水分を溜め込む。

◎ 妊娠中の方が服用してはいけない製品

- ・ **ウルソデオキシコール酸**を含有する製品

胎盤を通過して、胎児に悪影響を与えるおそれがある

- ・ **ロートエキス**を含有する製品

胎盤を通過して、胎児に一時的な頻脈等が現れるおそれがある

◎ 緑内障の診断を受けた人

- ・ **ロートエキス**を含有する製品

房水流出路が狭くなり眼圧が上昇し、緑内障を悪化させる恐れがある

一部抜粋。その他の注意事項は、各製品の添付文書を参考にご覧ください

使用上の注意③(相談すること)

● 特徴的な「相談すること」

血栓のある人、血栓症を起こすおそれのある人

成分：**セトラキサート**（胃粘膜分泌増加作用、胃粘膜微小循環改善作用）

理由：セトラキサートは代謝されてトラネキサム酸を生成するため、血栓が安定化するおそれがある。



肝臓病の診断を受けた人

成分：**トリメブチンマレイン酸塩**（消化管運動調律作用）
デプレノン（胃粘膜修復・保護など）

理由：まれに肝機能障害（重篤な副作用）が起こる可能性がある。



フェニルケトン尿症の人

成分：**アスパルテーム(L-フェニルアラニン化合物)**など（添加物として配合）

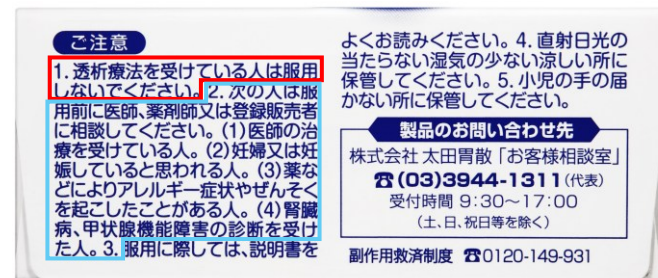
理由：フェニルアラニンがチロシンに変換されず、体内に蓄積するおそれがある。



外箱等に記載される使用上の注意

● してはいけないこと(外箱等に記載される)

対象者	関与成分	備考
透析療法	アルミニウム含有制酸剤	アルミニウム脳症や貧血等
授乳中	H2ブロッカー	母乳への移行が報告されている
	ロートエキス	母乳に移行して乳児に一時的な頻脈のおそれ



● 相談すること(外箱等に記載される)

対象者	関与成分	備考
妊婦	ロートエキス	胎児や新生児に頻脈等
	ウルソデオキシコール酸	動物実験で大量投与による胎児毒性
高齢者	グリチルリチン酸・甘草* ¹	薬剤の作用が現れやすい
	ロートエキス	

*¹: グリチルリチン酸として40mg/日以上又は甘草として1g/日以上

外箱等に記載される使用上の注意

● 相談すること(外箱等に記載される)

対象者	関与成分	備考
腎臓病	グリチルリチン酸・甘草* ¹	Na貯留、K排泄促進による腎臓病悪化
	(制酸成分など)	Na…体液量増大、腎負担増大 Mg…吐き気・嘔吐、低血圧等 Ca…吐き気、食欲不振、倦怠感等 Al…アルミニウム脳症など
高血圧	グリチルリチン酸・甘草* ¹	Na貯留、K排泄促進による高血圧悪化
心臓病	グリチルリチン酸・甘草* ¹	
	ロートエキス	頻脈
緑内障	ロートエキス	眼圧上昇
甲状腺機能障害	カルシウム含有	血中Ca濃度上昇による甲状腺機能低下症 又は副甲状腺機能亢進症の病態に悪影響
排尿困難	ロートエキス	尿の貯留・尿閉
むくみ	グリチルリチン酸又は甘草* ¹	症状悪化

*¹:グリチルリチン酸として40mg/日以上又は甘草として1g/日以上

● 主な「してはいけないこと」

赤字は外部の容器又外部の被包に記載

関与成分	対象者	主な製品
アルミニウム含有制酸剤	透析療法	太田胃散S、太田胃散A＜錠剤＞、 第一三共胃腸薬s、第一三共胃腸薬プラス、 パンシロン01、パンシロンG、パンシロンキュア
	長期連用	
グリチルリチン酸・甘草 ※ ¹	長期連用	半夏瀉心湯等 (甘草を配合している漢方処方)
ピレンゼピン	妊婦	パンシロンキュア ガストール錠
	運転	
	乗物酔い薬の併用	
	鎮痛鎮痙薬の併用	
H2ブロッカー	授乳中	ガスター10
ロートエキス	授乳中	キャベジンコーワαプラス、 パンシロン01プラス、パンシロンG、スクラート
	鎮痛鎮痙薬の併用	

*¹:グリチルリチン酸として40mg/日以上又は甘草として1g/日以上
一部抜粋。その他の注意事項は、各製品の添付文書を参考にご覧ください

● 主な「相談すること」

赤字は外部の容器又外部の被包に記載

関与成分	対象者	主 な 製 品
医師の治療中	※共通事項 (自己判断で他の薬剤を服用すると、 同種薬剤の重複投与や相互作用を引き起こすおそれ)	
アルミニウム、カルシウム、 マグネシウム、ナトリウム 含有制酸剤	腎臓病	太田胃散S、太田胃散A＜錠剤＞、キャベジンコーワα プラス 第一三共胃腸薬細粒s、第一三共胃腸薬プラス パンシロン01プラス、パンシロンG、パンシロンキュア 他
ウルソデオキシコール酸	妊婦	太田胃散A＜錠剤＞、ハイウルソ顆粒 他
カルシウム含有制酸剤	甲状腺機能障害	太田胃散S、太田胃散A＜錠剤＞、キャベジンコーワα プラス、 第一三共胃腸薬s、第一三共胃腸薬プラス、 パンシロン01プラス、パンシロンG、パンシロンキュア 他
グリチルリチン酸・甘草 ※ ¹	高齢者	半夏瀉心湯 等 (甘草を配合している漢方処方)
	腎臓病	
	高血圧	
	心臓病	
	むくみ	
ピレンゼピン	緑内障	パンシロンキュア、ガストール錠

*¹:グリチルリチン酸として40mg/日以上又は甘草として1g/日以上
一部抜粋。その他の注意事項は、各製品の添付文書を参考してください

● 主な相談すること

赤字は外部の容器又外部の被包に記

関与成分	対象者	主 な 製 品
ロートエキス	妊婦	キャベジンコーワα、 第一三共胃腸薬a、 パンシロン01、パンシロンG、 パンシロンAZ、スクラート 他
	薬アレルギー	
	緑内障	
	高齢者	
	腎臓病	
	排尿困難	
	心臓病	
	母乳が出にくくなることもある	
消化酵素	薬アレルギー	太田胃散、キャベジンコーワα、 第一三共胃腸薬、パンシロン01 他

● 相談すること

妊婦	ロートエキス	胎児や新生児に頻脈等
	ウルソデオキシコール酸	動物実験で大量投与による胎児毒性
高齢者	グリチルリチン酸・甘草 ^{*1}	薬剤の作用が現れやすい
	ロートエキス	
腎臓病	グリチルリチン酸・甘草 ^{*1}	Na貯留、K排泄促進による腎臓病悪化
	(制酸成分など)	Na…体液量増大、腎負担増大 Mg…吐き気・嘔吐、低血圧等 Ca…吐き気、食欲不振、倦怠感等 Al…アルミニウム脳症など
高血圧	グリチルリチン酸・甘草 ^{*1}	Na貯留、K排泄促進による高血圧悪化
心臓病	グリチルリチン酸・甘草 ^{*1}	
	ロートエキス	頻脈
緑内障	ロートエキス	眼圧上昇
甲状腺機能障害	カルシウム含有	血中Ca濃度上昇による甲状腺機能低下症 又は副甲状腺機能亢進症の病態に悪影響
排尿困難	ロートエキス	尿の貯留・尿閉
むくみ	グリチルリチン酸又は甘草 ^{*1}	症状悪化

^{*1}:グリチルリチン酸として40mg/日以上又は甘草として1g/日以上
一部抜粋。その他の注意事項は、各製品の添付文書を参考にしてください

使用上の注意（対象者）

● 主なしてはいけないこと

赤字は外部の容器又外部の被包に記載

対象者		関与成分	備考
透析療法		アルミニウム含有制酸剤	アルミニウム脳症や貧血等
授乳中		H2ブロッカー イトプリド	母乳への移行が報告されている
		ロートエキス	母乳に移行して乳児に一時的な頻脈のおそれ
妊婦		ピレンゼピン イトプリド	安全性が確立されていない
運転		ピレンゼピン	目のかすみ、異常なまぶしさ等(散瞳)
長期連用		アルミニウム含有制酸剤	アルミニウム脳症や貧血等
		グリチルリチン酸・甘草 ※1	偽アルドステロン症・ミオパチー
		イトプリド	－
併用薬	鎮痛鎮痙薬	ロートエキス	作用増強
	乗物酔い薬	ピレンゼピン	目のかすみ、異常なまぶしさ等(散瞳)

*1:グリチルリチン酸として40mg/日以上又は甘草として1g/日以上

一部抜粋。その他の注意事項は、各製品の添付文書を参考にしてください

～ 病変が見つからない胃の症状～

症状の原因となる器質的、全身性、代謝性疾患がないにもかかわらず、慢性的に心窩部痛や胃もたれなどの心窩部を中心とする腹部症状を有する疾患
※胃食道逆流症状を含めない



○ PDS (食後愁訴症候群)

食後膨満感、早期満腹感



○ EPS (心窩部痛症候群)

心窩部痛、心窩部灼熱感



検査で異常が見つからなくても、つらい症状が続くことがあります。
症状に応じた適切な対応や、生活習慣の見直しが大切です。



機能性胃腸症（機能性ディスぺプシア：FD）

胃酸分泌抑制薬



- PPI（ランソプラゾール、オメプラゾール） 推奨の強さ： **強**
- H₂ブロッカー（ファモチジン、シメチジン） 推奨の強さ： **強**
- P-CAB（ボノプラザン） 推奨の強さ： **弱**

消化管運動機能改善薬



- アセチルコリンエステラーゼ阻害薬（アコチアミド） 推奨の強さ： **強**
- ドバピンR拮抗薬（イトプリド、メクロプラミド） 推奨の強さ： **弱**
- 5-HT₄R作動薬（モサプリド） 推奨の強さ： **弱**

漢方薬



体質や
胃腸の働きを
整える!

- 六君子湯 推奨の強さ： **強**
- その他 推奨の強さ： **弱**

抗うつ薬



心の症状が
胃腸の不調に
関係することもある!

- 抗うつ薬 推奨の強さ： **弱**
- 抗不安薬 推奨の強さ： **弱**

その他

（有効か明らかでないため推奨度なし）



有効性が
明確でないため
推奨度なし

- 制酸薬
- プロスタグランジン誘導体
- 消化管粘膜保護薬（スクラルファート、レバミピド）



胃不全麻痺 (GP) とは？

胃不全麻痺 (GP) は器質的な閉塞機転がないにもかかわらず胃排出遅延をきたす疾患で、これによって



などの症状をきたす。

GP は基本的に胃の神経筋機能不全症の一型と位置づけられているが、**症状と胃排出遅延により規定される疾患**なので、その診断には胃シンチグラフィーや胃排出呼気試験などの**胃排出試験が必須**である。



GPの原因・背景 (さまざまなものがある)



- 糖尿病に合併するものが多い

● その他

- 術後胃 (胃切除術後など)
- パーキンソン病など
- 腎不全などの全身性疾患
- 薬剤性
- ウイルスや細菌感染後など



胃不全麻痺 (GP) と機能性ディスぺプシア (FD) のちがい



疾患の定義

胃不全麻痺 (GP)

胃排出遅延によって規定される疾患

成り立ち

胃排出遅延 (客観的所見) があることが必須

原因・合併症

原因不明のものだけでなく、**様々な合併症を有する場合でもその診断名はつく**

機能性ディスぺプシア (FD)

症状により定義される疾患

器質的、全身性、代謝性疾患など原因となりそうなものを排除した原因不明のもでなければならない

上記の疾患などをすべて除外した原因不明のものに限る

症状のちがい
(特に悪心・嘔吐)

GP

悪心、嘔吐が呈することが多い



VS

FD

これらの症状 (特に嘔吐) を伴うことはまれである



★ GP は胃排出遅延を客観的に証明することが重要！ 症状だけではなく、胃排出試験での評価が必須！

相手の状況を見てOTC医薬品での対応が可能かを判断する

✓ お客様の状態

- ・ 年齢、性別
- ・ 妊娠/妊娠の可能性
- ・ 通院/持病/服用中の薬
- ・ 痛みの種類・場所

✓ 症状の経過

- ・ 急性症状
- ・ 長期間の継続
- ・ 痛みの起こり方

胃のトラブルが下記の場合は受診を勧める

✓ 症状がひどい…「早めに病院へ受診してください」

- ・ 痛みが強い
- ・ 発熱している
- ・ 嘔吐、吐血 など

安心することで
症状が良くなることもある

✓ 症状が軽くても続く…「一度検査をすると安心です」

- ・ ピロリ菌の感染
- ・ 機能性胃腸障害 など

✓ このような場合にも…

- ・ 副作用があらわれた
- ・ 「所定の期間」服用してもよくならない

医師ではないので直接的な病名は控える

- ・ 重篤な副作用の場合、医師による適切な治療が必要である
- ・ OTC医薬品では治療できない状態である可能性がある



※添付文書に記載されてる「所定の期間」は、
製品によって、3日間であったり、2週間であったりする

受診勧奨が必要と思われる胃腸症状(慢性症状)

● 慢性的な症状の場合

代表的な症状	要因	病名
胸やけ、胸の痛み	内臓脂肪・前屈姿勢	食道裂孔ヘルニア
胃もたれ、満腹感、胃痛、吐き気	原発性、糖尿病性	胃不全まひ

➤ 診断後OTC医薬品で対応することが多い・経過観察が主体

代表的な症状	要因	病名
腹痛、下痢、便秘の慢性的な繰り返し	遺伝・環境	過敏性腸症候群(IBS)
胸やけ、吞酸、胸の痛み、のどの不快感	過食・食道裂孔ヘルニア	胃食道逆流症
常に胃に不快感がある、胃もたれ、腹痛、食欲不振、胸やけ	ピロリ菌・ストレス	慢性胃炎

➤ 軽症ならOTC医薬品で対応可能・症状に応じて受診勧奨

代表的な症状	要因	病名
胃もたれ、早期満腹感、胃痛、吐き気・嘔吐	糖尿病	胃不全麻痺
胃・みぞおちの痛み、胃部不快感、胸やけ、吐き気、食欲不振 →貧血や黒色便	塩分・喫煙・ピロリ菌	胃がん
腹痛、食欲不振、腹部膨満感 →黄疸、腰や背中での痛み	糖尿病・喫煙	膵臓がん
腹水、黄疸、羽ばたき振戦(手の震え)、倦怠感	肝炎ウイルス・飲酒	肝硬変

➤ OTC医薬品では対応可能できない・受診勧奨

受診勧奨が必要と思われる胃腸症状(急性症状)

● 急性的な症状・その他の場合

代表的な症状	要因	病名
腹痛、下痢、血便、嘔吐、発熱、悪寒	菌やウイルス	食中毒

➤ 診断後OTC医薬品で対応することが多い・経過観察が主体

代表的な症状	要因	病名
突然の胃痛、発熱、吐き気、嘔吐、胸やけ	ストレス・飲酒・薬	急性胃腸炎
吐き気・嘔吐、意識の混濁、昏睡、血圧の低下	飲酒	急性アルコール中毒
みぞおちや肩などの上半身の痛み(関連痛)、胸の圧迫感、発汗	動脈硬化	狭心症
むくみ、脱力感、倦怠感、筋力低下	甘草を含む漢方薬	偽アルドステロン症
吐き気、嘔吐、食欲不振、胃の圧迫感、眠気	妊娠	つわり
食欲不振、不眠、全身倦怠感	ストレス・体質	うつ病

➤ 軽症ならOTC医薬品で対応可能・症状に応じて受診勧奨

代表的な症状	要因	病名
イカや魚(光り物)の刺身を食べて10時間程度で胃痛、吐き気	寄生虫	胃アニサキス症
みぞおち部分から徐々に右下腹部に強い痛み、発熱、吐き気	炎症・虫垂の閉塞	虫垂炎
下痢、水様便、粘液便、腹痛、発熱	抗菌薬	偽膜性大腸炎

➤ OTC医薬品では対応可能できない・受診勧奨

胃腸薬販売フローチャート

来店

カウンセリング

主症状の確認



症状の
頻度

長時間持続

受診勧奨

一時的

以下の
主症状の確認

胃 痛

みぞおち部、圧
迫感、灼熱感

受診勧奨

激痛、発熱、嘔
吐、下痢を伴う

受診勧奨

キリキリとした
痛み（単発的）

胃腸薬

痛みは軽く、
胸やけ、むかつ
きを伴う（単発
的）

胃腸薬

胸やけ
むかつき
げっぷ

胃痛・腹痛・発熱・
嘔吐・下痢を伴う
げっぷが頻繁に出現
めまい頭痛を伴う

受診勧奨

げっぷを伴うむか
つき、胸やけ

胃腸薬

胃もたれ

貧血、腹痛を伴う
発熱を伴う

受診勧奨

胃部不快感
胸やけ、吐き気、
げっぷを伴う

胃腸薬

食欲不振

胃腸薬

発熱を伴う

受診勧奨

複合症状

激的、繰り返し出現

受診勧奨

一時的で軽症

胃腸薬

患者情報の確認

年齢、性別、妊娠/妊娠の可能性、
通院/持病/服用中の薬など

胃を大切に

胃は生活習慣や気分など様々な影響を受けやすく、
多様な症状があらわれます。

肝臓が「沈黙の臓器」と呼ばれるのに対し、
胃は「雄弁な臓器」と呼ばれ、
胃腸の調子は健康のバロメーターになります。

美味しい食事を楽しみ、健康な毎日を過ごすために、
これからも、胃を大切に。

— ご清聴ありがとうございました。 —